

大釜地域幸せづくり活動プラン ～夢がかなうまち大釜～

私たちの地域（地域の概要）

私たちの地域は、前九年の役で源義家が巨大な釜で兵馬に給仕したことから大釜と呼ばれ、現在も八幡神社、八幡館山などにその名が残っている歴史の深い地域です。

地域内には雫石川が流れ、近年まで水田を中心とする農村地帯として発展してきました。

現在では国道46号とJR田沢湖線などの広域交通網の発達により市の南の玄関口として都市化がすすみ新しいまちづくりが進んでいます。



目指す！
地域の姿

みんなで創るふれあいと元気あるまち 大釜

☆大釜地域づくり懇談会
(大釜上自治会、大釜南自治会)
【計画期間：平成27年度～平成34年度】

1 地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



八幡館山



大釜八幡宮



雫石川塩の森溪谷



大釜館遺跡



雫石街道日向一里塚



大釜運動場

2 地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみならず共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

■ 大釜地域の情報

	大釜地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,699	4.9%	55,170		H26.10末	
2 世帯数	1,028	4.7%	21,931		H26.3末	
高齢者世帯	186	18.1%	3,947	18.0%	(全市から自衛隊等を除く)	
うち高齢者1人世帯	109	10.6%	2,135	9.7%		
3 産業別人口	1,333	5.0%	26,478		H22 国勢調査	
1次産業	145	1.09%	1,374	5.2%		
2次産業	237	17.8%	5,683	21.5%		
3次産業	951	71.3%	19,421	73.3%		
4 年代別人口	2,659	4.9%	54,207		H26.10末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0~5	127	4.8%	2,561		4.7%
学び・成長世代	6~17	356	13.4%	6,735		12.4%
自立世代	18~34	479	18.1%	10,086		18.6%
子育て世代	35~49	578	21.7%	11,419		21.1%
充実世代	50~64	493	18.5%	11,491		21.2%
円熟世代	65~	626	23.5%	11,915	22.0%	

■ 大釜地域公共施設等情報（※印のあるところは指定避難所です。）

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
大釜保育園	大釜田の尻 42-1	687-3030	※勤労者体育センター	大釜高森 58-5	687-1466
大釜幼稚園	大釜外館 117-5	687-3030	盛岡西警察署	大釜八幡前 117-2	687-2843
※篠木小学校	篠木中屋敷 60	687-2064	大釜駐在所		
※滝沢南中学校	鵜飼滝向 11-1	687-2021	滝沢大釜簡易郵便局	大釜竹鼻 167-1	687-5414
岩手看護短期大学	大釜千が窪 14-1	687-3864	JR大釜駅	篠木明法 22-16	699-1171
			第1篠木なかよしクラブ	篠木明法 22-16	687-4497

3 私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題（地域と行政が連携し取り組む課題）

- ▶ 1. 地域内を流れる越前堰の洪水対策が必要です。
- ▶ 2. 放課後に子どもが安心して過ごせる場所の充実が求められます。
- ▶ 3. 安心安全地域を目指し行政と地域のさらなる連携が大切です。
- ▶ 4. 上下水道の未整備地区解消のために地域で話し合いをします。

地域活動の課題（地域で取り組む課題）

- ▶ 1. 安心して子育てできる地域環境を目指します。
- ▶ 2. 子どもや高齢者を含めた歩行者の安全の確保に取り組めます。
- ▶ 3. 災害に備え自主防災組織の連携体制を構築します。
- ▶ 4. 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組めます。
- ▶ 5. 快適な生活環境の確保と自然環境の保全ため適正な雑排水処理に取り組めます。

4 幸せづくり計画

① 地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

市街地を拡大し、ゆとりある住宅地とにぎわいある空間を形成しよう

- ▶ 1. 主要な公共施設等を結ぶバス路線のルート確保と利用の啓発運動を進めます。
- ▶ 2. 大釜駅前付近のにぎわいの創出を検討します。
- ▶ 3. 広域の自主防災組織で連携し災害に対応します。

基本方針 2

豊かな田園都市として、子どもやお年寄りが暮らしやすく、みどりや花のある住環境をつくろう

- ▶ 1. 八幡館山周辺の環境整備を地域協働で実施します。
- ▶ 2. 交通事故の無い地域を目指しスクールガード活動に参加します。
- ▶ 3. 地域内の公園を定期的に清掃します。

基本方針3

雫石川や地域内の用水・川を地域住民が利用し、水辺と暮らしが豊かな関係を持つ地域にしよう

- ▶ 1. 美しい街並みを保つため、クリーン作戦を展開します。
- ▶ 2. 生活雑排水の適正な処理に取り組みます。
- ▶ 3. 「大釜探検隊」など地域のことを知る機会を設け、地域への愛着を醸成します。

基本方針4

地域住民の輪を大切に、自立した地域コミュニティを形成していこう

- ▶ 1. 「運動会」や「敬老会」など地域内の交流とにぎわいのある行事を実施します。
- ▶ 2. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域を目指します。
- ▶ 3. ゴミだしルールの周知徹底を図り、適正にゴミステーションを管理します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

☆すこやか世代（0～5歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
親以外に、（子どもの）世話をしてくれる人がいること
- ②象徴指標
子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合
- ③活動モデル
子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる
- ④どのように具体的に取り組むか
子育て世帯に行事への参加を呼び掛ける
- ⑤活動団体・組織
子ども会育成会、自治会 ほか

☆学び・成長世代（6～17歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
（子どもが）夢中になって取り組めることがあること
- ②象徴指標
子どもが夢中になって取り組むことがあると感じる人の割合
- ③活動モデル
運動会や学習発表会、文化祭には、家族が見に行く
- ④どのように具体的に取り組むか
子どもと一緒に今日の出来事についてお話する
- ⑤活動団体・組織
PTA、小中学校、学童保育クラブ、自治会 ほか

☆自立世代（18～34歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル
広報紙、回覧板を必ず見る
- ④どのように具体的に取り組むか
家族全員で地域の情報を共有する
- ⑤活動団体・組織
家庭、消防団、子ども会育成会、自治会 ほか

☆子育て世代（35～49歳）

- ① 幸福感を育む象徴的要素
安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること
- ② 象徴指標
家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合
- ③ 活動モデル
家庭内で協力して家事や育児に取り組む
- ④ どのように具体的に取り組むか
家庭内で「ありがとう」の気持ちを伝える
- ⑤ 活動団体・組織
家庭、PTA、スクールガード、学童クラブ、子ども会育成会、自治会 ほか

☆充実世代（50～64歳）

- ① 幸福感を育む象徴的要素
世代を超えて交流する機会があること
- ② 象徴指標
ここ1年で地域活動に参加した人の割合
- ③ 活動モデル
運動会や自治会活動など地域活動に参加する
- ④ どのように具体的に取り組むか
地域のイベントに参加して交流を深める
- ⑤ 活動団体・組織
まちづくり推進委員会、婦人会、子ども会育成会、自治会 ほか

☆円熟世代（65歳～）

- ① 幸福感を育む象徴的要素
いざという時にも、助け合える繋がりがあること
- ② 象徴指標
いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
- ③ 活動モデル
地域内のご近所づきあいを図る
- ④ どのように具体的に取り組むか
ご近所と挨拶を交わす
- ⑤ 活動団体・組織
民生児童委員、消防団、老人クラブ、自治会 ほか

地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	幸福感を育む 象徴的要素	象徴指標	活動モデル	どのように具体 的に取り組むか	活動団体 ・組織
すこやか世代 (0～5歳)	親以外に、(子ども)世話をしてくれる人がいること	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合	子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる	子育て世帯に行事への参加を呼び掛ける	子ども会育成会、自治会 ほか
学び 成長世代 (6～17歳)	(子どもが)夢中になって取り組めることがあること	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合	運動会や学習発表会、文化祭には、家族が見に行く	子どもと一緒に今日の出来事についてお話する	P T A、小 中学校、 学童保育ク ラブ、自治 会 ほか
自立世代 (18～ 34歳)	地域の皆さんと交流の機会があること	地域のお祭りや行事に参加した回数	広報紙、回覧版を必ず見る	家族全員で地域の情報を共有する	家庭、消防 団、子ども 会育成会自 治会、自治 会 ほか
子育て世代 (35～ 49歳)	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること	家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合	家庭内で協力して家事や育児に取り組む	家庭内で「ありがとう」の気持ちを伝える	家庭、P T A、スクー ルガード、 学童、子ど も会育成 会、自治会 ほか
充実世代 (50～ 64歳)	世代を超えて交流する機会があること	ここ1年で地域活動に参加した人の割合	運動会や自治会活動など地域活動に参加する	地域のイベントに参加して交流を深める	まちづくり 推進委員 会、婦人会、 育成会、自 治会 ほか
円熟世代 (65歳～)	いざという時にも、助け合える繋がりがあること	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合	地域内のご近所づきあいを図る	ご近所と挨拶を交わす	民生児童委 員、消防団、 老人クラ ブ、自治会 ほか

5 私たちのあゆみ
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

年月日	主要な活動の記録
2002年〔H14年〕	・大釜地域まちづくり推進委員会設立(大釜上・大釜南自治会)
2003年〔H15年〕	・地域住民が楽しく集える公園づくり事業 大釜中央公園にブランコ、滑り台、築山を整備
2004年〔H16年〕	・地域内3公園にサクラを植樹
2005年〔H17年〕	・「滝沢地域ビジョン」(2005～2014年度)が策定される ・パソコン教室開催
2007年〔H19年〕	・八幡館山関連の学習会を開催
2008年〔H20年〕	・大釜館、八幡館山遺跡展示会
2009年〔H21年〕	・八幡館山整備活用事業 山頂付近の刈払い実施 ・歴史講演会「厨川の戦いと安部一族」開催 ・「八幡館山遺跡」が村指定遺跡となる。
2010年〔H23年〕	・八幡館山山頂方位盤完成
2011年〔H23年〕	・大釜館遺跡歴史看板完成
2012年〔H24年〕	・第1回大釜探検隊「大釜のお城を見に行こう」
2013年〔H25年〕	・第2回大釜探検隊「雫石川について学ぼう」 ・第3回大釜探検隊「ミクニ大釜工場」
2014年〔H26年〕	・第4回大釜探検隊「ミニ溪谷に行ってみよう」 ・第5回大釜探検隊「田んぼの水はどこからきているの？」

大釜地域づくり懇談会

大釜上・大釜南自治会役員、大釜地域まちづくり推進委員会、老人クラブ、子ども会育成会、滝沢南中学校PTA、滝沢市議会議員(順不同)